

労福協 NEWS

2016.4 No.78

徳島県委託「はぐくみ支援実践セミナー」開催

はぐくみ支援の取組は社員のやる気を引き出し、生産性を上げる！



徳島県では、子育てに優しい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業所を「はぐくみ支援企業」として認証・表彰しています。制度が創設されて10年目を迎えた昨年度、表彰企業の取組をとおして、どのような成果が得られたかを知り、働きやすい職場環境整備に根拠をもって取り組む機運を醸成することを目的とし、3月10日に徳島市のふれあい健康館で標記セミナーを開催し、行政、企業の経営者や人事担当者、福祉事業団体関係者等、約70名が参加しました。

労福協の川越敏良会長、県商工労働観光部労働雇用課の谷口右也課長の挨拶に続き、第一部では、県社会保険労務士会の米澤和美会長が「女性活躍推進法施行間近！何が、どう変わるのか！？」と題して講演。本法が10年の時限立法であることから、10年後を見据えて「何が、どう変わるのか」ではなく、「何を、どう変えるのか」という意識で、女性の採用や継続就業、管理職比率などの数値目標を定め、女性の活躍を企業戦略と位置づけて取り組むことが重要であると総括しました。

第二部の「はぐくみ支援表彰企業の経営者による事例発表」では、四国大学短期大学部の加渡いづみ准教授をファシリテーターに迎え、株式会社イドムの後藤真人代表取締役と株式会社ネオピエントの藍原理津子代表取締役、株式会社松本コンサルタントの松本祐一代表取締役社長が自社の取組を発表しました。

後藤社長は、出産祝い金制度や3年間の育児休業制度と原職復帰制度、希望に応じた柔軟な働き方など徹底したはぐくみ支援の仕組みを構築したことで、パートから正社員になり店長になった女性がいるなど、人材の確保・育成ができていと持論を述べました。

藍原社長は、育児休業や有給休暇の取得促進、残業時間の削減などの取組を進め、国が子育てサポート企業として認定する「くるみんマーク」を取得し、生産性の向上や新卒採用に効果が見られたことを発表。永く続く企業になるために、高齢者や外国人など多様な人材を受け入れ、女性も納得した働き方ができる職場づくりを進めていくと今後の方向性を示しました。

松本社長は、経営判断として「はぐくみ支援」に取り組み、男性の育児休業取得を促進するために制度と風土を一体的に推進し、昨年10月「くるみんマーク」の最高位「プラチナくるみんマーク」を四国で初めて取得した実践事例を発表。男性の職場環境の改善が女性の活躍推進の鍵を握ることを強調しました。

「はぐくみ支援」の取組が社員の家庭生活の充実、ひいては企業の持続発展につながるという経営者からのメッセージは参加者の共感を呼び、事後のアンケートからも、経営者の信念と実践、社員への思いを知ることができてよかったという声が多く寄せられました。

県の委託を受け12年目となる今年度も、徳島労福協では「はぐくみ支援」の取組が職場や地域に様々な効果をもたらすことを、セミナーや事業所訪問等をとおして発信し働きかけを進めていきたいと思っています。

労 福 協

平成27年度徳島市子どもの学習支援事業

【学びサポート塾】卒塾式挙行

未来ある子ども達の夢の実現に向けて、指導員とスタッフが心を込めて運営してきた「平成27年度徳島市子どもの学習支援事業【学びサポート塾】」は、平成28年3月31日（木）無事卒塾式を挙行することができました。



曜日ごとに徳島市内5か所に設けた教室では、鳴門教育大学院生を中心に、高校進学のための学習支援はもちろんのこと、各教室でのレクリエーションや子ども達全員が一堂に会するスポーツイベントも取り入れ、子ども達に「楽しい」と感じてもらえる支援を、そして時には子ども達の悩み相談も受け付け、多感な子ども達に「安心」を感じてもらえる「居場所」となる教室運営を心掛け対応してまいりました。この支援姿勢は子ども達に受け入れられ、結果、在籍者数53名という数字に表れたものと感じています。

実際に子ども達から「通うのが楽しい」「指導員の先生が優しい」「勉強がよく分かる」「成績が上がった」といった声を聞くことができました。徳島市から委託を受けた【学びサポート塾】ですが、指導員とスタッフが子ども達の事を第一に考え心を込めて関わるという徳島県労福協だからこそできる支援体制で運営してまいりました。それが子ども達に伝わったものと嬉しくありがたく思っています。

平成27年度中学3年生の子ども達に対する【学びサポート塾】の支援は終わりましたが、関わった子ども達との縁は途切れるはずはなく、今後も心を込めて支援を続けたいと考えています。

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会パーソナルサポートセンターとくしまは、平成27年度徳島市より委託を受け、「徳島市子どもの学習支援事業【学びサポート塾】」を5月25日（月）開塾し一年間運営してまいりました。

この事業は「意欲があるにも関わらず、経済的な理由により学力や進学について不安を抱えている中学生」を対象に、「学習に関する質問だけに限らず、その他の疑問や悩みをいつでも相談できる環境を提供」するものです。

曜日	地区	会 場
月曜日	中央地区	徳島県青少年センター
火曜日	北地区	川内公民館
水曜日	南地区	方上公民館
木曜日	南西地区	一宮コミュニティセンター
金曜日	西地区	加茂コミュニティセンター



連 合

2016春季生活闘争開始宣言



徳島県春闘共闘会議および連合徳島は2016年2月5日労働福祉会館別館5階ホールで2016春季生活闘争開始宣言集会を開き、各構成組織や団体から130人が参加した。

冒頭、主催者を代表し森本共闘会議議長は「連合は今年の春季生活闘争を各地で統一的に闘うために『クラシノソコアゲ応援団 2016 RENGOKAMPAIN』に取り組んでいる。このキャンペーンの基本的な考え方は①『底上げ・底支え』『格差是正』で経済の好循環。従来の『大手追従・大手準拠』などの構造を乗り越える取り組みを行い、サプライチェーン全体で生み出した付加価値を適正に分配する公正取引の実現に労使で取り組んでいかなければならない。②『安全・安心のセーフティネットの構築』。すべての国民が希望を持って働き、安心して生活していくには、社会保障と税の一体改革の実現、育児・介護休業制度の改善、子ども・子育て新制度の拡充、年金積立金の健全な運用などを通じて、安心・安全のセーフティネットを構築し、経済の活性化につながる。③『すべての人にディーセント・ワーク、すなわち働きがいのある人間らしい仕事を実現』。働く者を犠牲にした成長戦略を描き、労働者派遣法改悪をはじめ労働者保護ルールを改悪してきたことは問題である。④『健全な民主主義を取り戻

そう』。第189回通常国会における労働者派遣法の改正、安全保障法制の国会審議は国民の大半が審議の継続を望んでいるにもかかわらず、途中で打ち切って法案を強引に採決した。こうした与党の独り善がりな国会運営の継続を許してはならない。連合徳島が推薦決定した弁護士『大西 聡』さんは次期参議院選挙徳島・高知の合区で立候補を決意され、安倍政権の暴走を止めるべく頑張りぬく所存である。」とあいさつ。

続いて、島共闘会議事務局長が2016春闘の方針と課題、要求内容等を提起した後、民間大手部会、民間中小部会、官公労、地域部会から闘う決意が表明された。

最後に闘争開始宣言が提案され、森本議長の「団結ガンバロウ」で意思統一を図った。



ろうきん

四国ろうきんの社会貢献活動 基本方針

四国ろうきんは、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への
取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ
地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた
「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

ろうきんの基本理念

- ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
- ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
- ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
- 会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
- ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

■助成金制度

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの
「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い
活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、
助成金を贈呈する制度です。

過去 14 年間に
**402 件 6,821 万円の
事業資金の助成を
行っています**

■ピンクリボン運動支援

「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がん早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。

具体的には、四国ろうきん ATM において、ろうきんカード（マイプラン含む）および他行カードでの支払 1 回につき 1 円を四国ろうきんが負担し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会のグループ組織に寄附するものです。

経営統括部 TEL.087-811-8004

E- メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp

または最寄りの営業店にお問い合わせください。

“ありがとう”15周年 これからも
ずっと永く
四国ろうきん

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

全 労 済

地域貢献事業

徳島駅伝に協賛しました

全労済徳島県本部は、徳島県で60年続く伝統行事の「徳島駅伝」を支援するため、地域貢献事業として、2016年1月4日(月)～1月6日(水)に開催されました第62回徳島駅伝に協賛しました。

本年度は、徳島駅伝の小旗21,000本(裏面にカラーで全労済名を掲載)を作成し、徳島駅伝開催期間中に、沿道で徳島駅伝を応援する皆さまに配布しました。

全労済 徳島県本部は
第62回 徳島駅伝を
応援しています。

第62回 徳島駅伝
全労済徳島県本部は、地域貢献事業として駅伝の小旗に全労済名を掲載し、沿道で配布しています。

非営利だから、
できる保障がある

2016年2月 制度改定

カーライフを応援する、頼れる補償
マイカー共済
自動車総合補償共済

ZENROSAI NEW
3615W003

全労済 徳島県本部
(徳島県共済生活協同組合)
〒770-0042 徳島市南東町3-35-1 労働福祉会館1F
TEL 089-625-2340
営業時間：月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日 専任連絡は線K)

http://www.zenrosai-tokushima.co.jp

※お問い合わせは、各所管の担当窓口へ。お問い合わせの際は、お名前、お電話番号、お問い合わせの件名をお知らせください。

※お問い合わせは、各所管の担当窓口へ。お問い合わせの際は、お名前、お電話番号、お問い合わせの件名をお知らせください。

2016年1月5日(火)～1月7日(木) 徳島新聞朝刊掲載広告

2016年2月 ご来店キャンペーンのご報告



2016年2月1日(月)～2月29日(月)まで、徳島県本部窓口にて、「気軽に・何でも・何度でも」相談できる『親切で頼れる店舗』を目指し、組合員満足度の向上に向け、ご来店キャンペーンを開催いたしました。

キャンペーン期間中にご来店いただきました方全員に、①リフレクターチャーム、②オリジナル軍手、③保湿ティッシュのうち、いずれか1点をプレゼントしました。

さらに、新規でご加入いただいた方には、ご成約プレゼントとして、①めがねふき、②オリジナルアロマブロックのどちらか1点をプレゼントしました。

キャンペーン期間中、644名の多くの皆さまにご来店いただき、ありがとうございました。

多くの皆さまのご来店、ありがとうございました。



住まいる共済 豆知識

～住まいる共済は、水道管の凍結による破裂も保障の対象となります～



2016年1月23日からの西日本を中心とした寒波・大雪により、徳島県内も1月24日～25日にかけて大雪となり、全労済の住まいる共済に加入いただいている皆さまから、県内各地で降雪による多くの住宅被害のご連絡がありました。

また、県内各地で平年を7～9度下回る今期一番の冷え込みとなり、住宅の水道管の凍結による破裂についても多くのご連絡をいただいております。雪害と水道管の凍結による破裂の受付が、県内で51件(2016年3月25日現在)ありました。被災された全ての組合員の皆さまに、一日も早い共済金のお支払いができるよう、迅速かつ丁寧な対応を行っています。

住まいる共済は、住宅の水道管の凍結による破裂も保障の対象となり、火災、風水害、雪害から地震まで幅広い保障範囲で住まいと家財を守ります。

勤労者福祉ネットワーク

◆「心の健康・相談室 フォー・ユー」開設

2月1日(月)、大きな社会問題となっている「心の病」をもった勤労者本人及び本人が勤務する企業の事業主の悩みに対応するため、「こころの健康・相談室 フォー・ユー」がスタートしました。当財団と日本産業カウンセラー協会が連携し、職業カウンセラー相談員資格を持った専門員が、月曜から金曜の10時～17時までの間電話相談、毎月第3土曜日の9時～16時に面談による相談に応じます。事業主を含めたすべての勤労者が安心して働ける職場づくりに少しでもお役立ていただければと開設しました。



2016年1月20日「心の健康・相談室設置に係る相互連携協定書」調印式

◆ライフプランセミナーを開催！(あわ～ず徳島)

2月4日(木)、「ライフプランセミナー」を開催し、今年度は、50～60歳代の方を対象に、「退職後の生活設計」を中心としました。講師に四国放送、ゴジカル「くらしの泉」でおなじみの加渡いづみ先生を迎え、定年後の生活について、家庭や夫婦間で話し合い、計画を立てること、定年後も地域社会との繋がりが大切であることなど、具体的な事例を織り交ぜながら、老後のライフプランについてわかりやすい解説していただき、楽しいセミナーとなりました。



2016年2月4日「ライフプランセミナー」加渡いづみ先生

◆「あわ～ず徳島 会員1万人突破と感謝の集い」を開催！

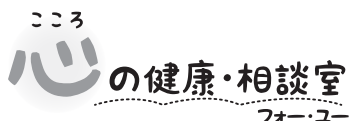
3月12日(土)「あわ～ず徳島 会員1万人突破記念と感謝の集い」(参加費は全額「ハートフルゆめ基金とくしま育成基金」へ贈呈)を開催しました。62会員事業所182名の参加のもと、長年にわたりサービス提携いただいている13事業所、「あわ～ず徳島」の発展に貢献された8名の功労者表彰を行いました。交流会では、徳島文理大学沖縄県人会によるエイサー披露、豪華賞品の当たる大抽選会など、感動と笑顔いっぱいの集いとなりました。



2016年3月12日「あわ～ず徳島 会員1万人突破と感謝の集い」

◆「ハートフルゆめ基金とくしま」3つの冠基金を作りました

2015年末、「とくしまをなんとかしたい、ほっとけん事業指定プログラム」に加え、①「ハートフルゆめ基金とくしま育成基金」(この基金の運営にご賛同いただき、支援するための基金)、②「働きたいを応援する 中間的就労者支援基金」(ニートや引きこもりなど、一般就労にはなじまないといわれる若者の支援のための活動を行っている団体を支えるための基金)、③「ファミサポ利用支援子育て基金」(ファミサポを利用したくても経済的な理由により利用を控えざるを得ない家庭の子育てを支援するための基金)、の3つのテーマを私たちの「冠基金」としてスタートさせました。



職場での人間関係、仕事のストレス、過労…働いていて、心が辛くなっていませんか。悩みを抱え込んでしまわずに、「心の健康・相談室 フォー・ユー」(通称：心のフォー・ユー)にご相談下さい。専門機関と連携しながらあなたの悩みに寄り添います。「従業員のメンタルヘルス」や「ストレスチェック制度」に関するご相談も受け付けています。お気軽にご相談下さい。(ご相談いただいた事項は個人情報保護規定に基づき厳密に取り扱います)

相談
無料

お気軽にご相談ください

電話相談

月曜日～金曜日
10:00～17:00

※国民の祝祭日・8/12～8/15
・12/29～1/3は除く

専用相談ダイヤル

100 パーセント ナ ヤ ミ ゼロ
☎ 090-1008-7830

面談による相談

毎月第3土曜日
9:00～16:00

要予約

※ 面談ご希望日の2日前までにご予約ください。

予約受付時間10:00～17:00 月～金
(国民の祝祭日・8/12～8/15・12/29～1/3は除く)

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク内
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島4F

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

「キウイ収穫体験祭り」開催報告

- ※と き 2015年11月14日(土)10時30分～
※ところ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」
※参加者数 104名(幼児、スタッフ含む)



【概要】

「県民と働く者のとくしまフェスタ2015」の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月17日(木)から10月16日(金)まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ98グループ264名の応募があり、10月19日(月)厳正な抽選の結果102名の方が当選しました。

11月14日(土)の当日は、雨の降るあいにくの天気であり、また、前日の大雨の影響からか104名(幼児、スタッフ含む)の参加になりました。

オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「昨年に続きあいにくの雨の中ですが、滑って怪我をしないように。」とのあいさつの後、果樹オーナー園主運営会の千田会長から園主運営会を代表して「果樹オーナー園へおいで頂きありがとうございます。」と挨拶も頂き「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。

参加者の皆さんは、雨具に身を包みキウイ園に入っていきますが、雨で足元は滑りやすくキウイを取るのも一苦勞。それでも園主の方から渡された籠にキウイを一杯にしていました。小さな子どもさんは、大人に抱いてもらいキウイを楽しそうに握ぎ取りました。

収穫体験の後は、スピードくじでの抽選会、空くじなしではありますが、大人も子どもも1等賞が当たると「やったー。」と大満足。

また、オーナーの方が完熟キウイを剥いて提供した頂いたキウイを沢山味わいました。

更に、当日は果樹オーナー園主運営会の皆さんが、村で取れたネギやみかんの直産市や特産物の当るビンゴゲームを行って頂き、参加者の方々も大いに満足した一日でした。

～講演会「ネット社会を安全・安心に!!」

を開催しました～

- ※と き 3月24日(木)18時～
※ところ 労働福祉会館5階502会議室
※講師 徳島県消費者情報センター
阿部 千明さん

※演 題 ネット社会を安全・安心に!!

当センターに寄せられる相談では、「暮らし・生活」に関するものが毎年6割余りと多く、その中でも悪徳商法やネットでのトラブルなど「消費者問題」に関する相談が、約半数を占めています。

この様な状況から、多くの県民の皆様がネット社会を安全に生きる術を身につけ、安心してネット社会を暮して頂きたいという思いから講演会を開催しました。

川西事務局長の「スマホ等の急速な普及によりトラブルが増えています。当センターにも被害に遭い、どうしようという相談が多く寄せられています。転ばぬ先の杖ではありませんが、講師の講演内容から何かヒントを掴みネット被害に遭わないようにして下さい。」と開会あいさつで講演会が始まりました。

講演内容の詳細につきましては次号に掲載いたします。

徳島西部ライフサポートセンター

～地域貢献事業(スポーツ少年団支援)～

徳島西部ライフサポートセンターでは、地域貢献事業の一環としてスポーツ少年団支援を行っています。

- 昨年度も、①第30回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会(5/17) ②第10回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会(10/10)
③第24回パナソニックヘルスケア杯少年サッカー大会(2/11)
④三好少年軟式野



球連盟平成28年度春季大会(3/13)が開催され、後援しました。

各大会とも、日頃の練習の成果を発揮するべく、チームが一丸となり熱戦が繰り広げられました。また、大勢のチームが参加しており、交流を図ることもできました。

スポーツ少年団支援も今年で10年目を迎えました。この事業を通して、少しでも地域に貢献できればと考えています。

将来、世界で活躍するような選手が現れるかも、と期待をこめて…。今年度も、子どもたちの一生懸命な姿を応援していきます。



徳島南部ライフサポートセンター

第7回ろうきん青年女性部交流会が開催されました



2月26日(金)ろうきん阿南支店推進委員会青年女性部交流会(通称：鍋パーティ)が開催されました(南部ライフサポートセンター協賛)。この交流会は青年女性層の組合員に対して、労働組合について興味を持って頂くことと、阿南・海部・那賀地区の各労働組合の青年女性層の交流を目的としており、今年で7回目となります。18時30分にスタートし、通称：鍋ドラフトという抽選ゲームによって食材をゲット。みんなでお鍋を作ったり、ゲームをした

り。6単組23名の参加があり、終始笑顔の絶えない交流会となり、21時に終了となりました。



2015年度 自動車運転免許取得特別講座 閉講式

昨年の7月から南部ライフサポートセンターの会議室で行われていた自動車運転免許取得特別講座の閉講式が、2016年2月27日(土)、18時過ぎから行われました。

まず労福協の川越会長から、「本日閉講式を迎えられた皆さん、本当にお疲れ様でした。昨年の7月18日から始まったこの講座で、しっかり継続して学習して来られた皆さんの経験はきっと力になります。講師の宝先生、保護者、学校の先生など色々な人が関わってくださり、ご支援をいただいて今日を迎えられました。この経験を生かして、免許を取得するという最終的な目標に向かって、皆さん、がんばってください。」と、ねぎらいと激励のあいさつがありました。

そして、前年度からの生徒も含めての「免許取得祝い金」の贈呈では、3名の生徒さんが感激の受賞となりました。また、今の段階で1名の生徒さんが教習所に通っていて、すでに仮免に合格しているという状況です。宝先生からは、「皆さん、教習所に今すぐ入校しても学科をクリアしていくための基礎力についてはついていきます」との太鼓判をいただいています。7か月間続いた講座が、いよいよ今日でオシマイという実感がわいたのか、シンミりする生徒さんもありましたが、閉講式の後の最後の授業が終わり、「がんばれよ」という声に見送られて教室を出ていくその顔は、力強い決意に満ちて、みんな「ハイッ」と元気に答えてくれました。



わーくびあ徳島

第5、6回公開講座および第4回パネル展 報告

とくしま社会運動資料センター（運営：徳島県労働福祉会館）

とくしま社会運動資料センターの第5、6回公開講座および第4回パネル展が開催されました。今回は森永ひ素ミルク中毒事件をテーマとして、元公立学校教諭であり「被害者を守る会」の全国常任理事をされている江口哲生さんを講師に招き、被害者の救済活動さらには食品事件の根絶へ向けた次世代へのメッセージを連続2回の講座にて語って頂きました。閉会に際し久積センター長から「世界に類を見ない凄惨な事件であり、市民の目線から起こった運動、取り組みとしても類の無いものでありました。この教訓を生かすのが私たちの使命であります」と締めくくりの挨拶がありました。

お忙しいなか受講してくださいました皆様に感謝を申し上げます。

第5回公開講座

☆日 時 2016年2月9日（火）18：00～20：00

☆場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

☆参 加 45名

☆講 師 江口哲生氏（森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会
全国本部常任理事／徳島県本部委員長）



☆テーマ 『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関することパートⅠ』

1. DVD視聴 しこく戦後70年「森永ヒ素ミルク中毒事件 被害者家族の60年」
（NHK総合テレビ2015年10月30日（金）19時30分～20時13分）
2. 第1期 1955（昭和30）年～1969（昭和44）年
事件発生から「14年目の報告」まで
被害者が切り捨てられ放置された時代
3. 第2期 1969（昭和44）年～1974（昭和49）年
「14年目の報告」から「ひかり協会設立」まで
被害者救済に向けて運動が高揚した時代



第6回公開講座

☆日 時 2016年3月8日（火）18：00～20：00

☆場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

☆参 加 50名

☆講 師 江口哲生氏（森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会
全国本部常任理事／徳島県本部委員長）



☆テーマ 『森永ひ素ミルク中毒事件の被害者救済活動、食の安全に関することパートⅡ』

1. DVD視聴 『「森永ひ素ミルク事件」事件発生から60年』
（森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会岡山県本部制作、2015）
2. 第3期 1974（昭和49）年～現在
「ひかり協会」によって「相談事業」や「金銭の給付事業」など、
さまざまな被害者救済活動が開始され、実施されている時代



パネル展『森永ひ素ミルク中毒事件 -親たちの思いを受け継いで-』

☆日 時 2016年2月8日（月）～2月16日（火）10：00～15：00
※9日（火）、11日（木）は休み

☆場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

☆参 加 60名

☆テーマ 展示パネルは、「森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会岡山県本部」様より、提供して頂きました。2014年10月に岡山市立中央公民館にて開催されたパネル『60周年記念行事 -親たちの思いを受け継いで-』にて展示された写真・資料です。





住まいの備えは全労済の 住まいる共済で安心。



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

ろうきんは、はたらく人のための金融機関です。

- ろうきんは、日本でただひとつ、はたらく仲間がつくった、
非営利の勤労者福祉金融機関です。
- ろうきんは、健全経営に徹し、利益は会員・勤労者や社会に還元します。
- ろうきんは、はたらく仲間の人生設計と夢を実現する生活応援バンクです。
- ろうきんは、はたらく仲間の笑顔に使われる、
お金の流れ「グッドマネー」をつくります。



“ありがとう”15周年 これからも
ずっと永く
四国ろうきん
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島 内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川 越 敏 良
印刷者 (有)フォトプリント白石